


棚POWER インフォメーション

湿った空気で憂鬱な気分・ワールドカップ  を楽しみましょう!

2002.6.14 Vol.38



Ver10.01

IConcept®サポートセンター

OSAKA / TEL(06)6821-2571

9:30~12:00, 13:00~18:00

TOKYO / TEL(03)5469-1153

10:00~12:00, 13:00~17:00

土・日・祝祭日はお休みをいただいております。

<http://www.iconcept.co.jp/>

e-mail iccenter@iconcept.co.jp

棚POWER 次回最新バージョン10.10の主な新機能特集!お届けまでもうしばらくお待ちください。

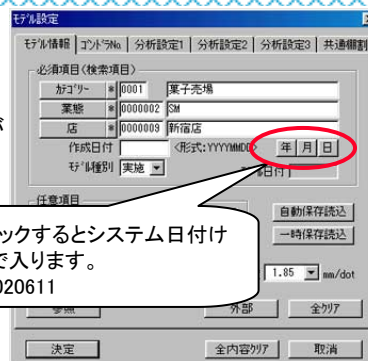
モデル設定の新機能

●モデル設定の作成日付の設定が容易に

モデル設定・モデル情報の必須項目である作成日付を簡単に入力することが可能となりました。
これにより、本日の日付け入力や年・月・日入力の手間を省くことができます。

年 月 日 をクリックします。

- 年...作成日付にシステム年を自動で設定します。
- 月...作成日付にシステム年月を自動で設定します。
- 日...作成日付にシステム年月日を自動で設定します。



帳票の新機能


●棚割図表(罫線)のエクセル出力が可能

他の帳票と同じく、棚割図表をExcel95形式で出力可能となりました。
これにより、それぞれをExcel出力した後に加工する必要がなくなります。

注意:

出力した棚割図のイメージは、実際の寸法の比率と異なる可能性があります。必ず出力ファイルを開いて図イメージを確認してください。

比率が異なっている場合の対処方法:

- 出力した棚割図表(罫線)ファイルをExcelで開きます。
- 棚割図のイメージをマウスでクリック後プルダウンメニュー「表示」-「ツールバー」-「図」を選択します(選択済みの場合は次処理を行いません)。
- 棚割図のイメージを選択し、[図] ツールバーの  (図のリセット) をクリックします。
- 必要により棚割図のイメージをマウスでクリック後、右クリックで「図の書式設定」を選択します。
<プロパティ>タブの「セルに合わせて移動やサイズ変更をしない」チェックボックスを有効にします。
これにより、行サイズを変更しても棚割図のイメージの縮小/拡大処理は行われません。

回避方法の詳細はこちら⇒<http://www.iconcept.co.jp/user/qa/pdf/tanzahyo-excel.pdf>

●棚割表/追加変更棚割表エクセル出力時の1台使用列数の自動調整機能

棚割表をエクセル出力する際の「1行使用列数」の設定で無効な数値を入力した場合は、再度手動で変更する必要がりましたが、Ver10.10からは棚POWERが自動で算出し出力できるようになります。
対象帳票: 棚割表、色分棚割表、棚割図表、色分棚割図表、追加変更棚割表

ホームページでもVer10.10/バージョンアップ項目など公開中です。

是非ご覧ください!! http://www.iconcept.co.jp/tpower/verup/tp_ver_top.htm

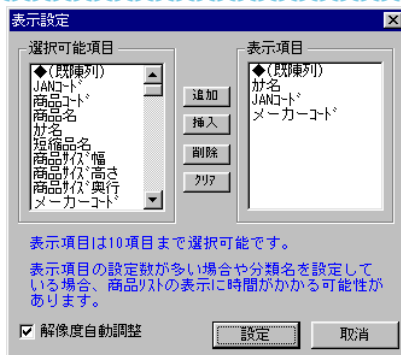
商品リストの新機能

●商品リストの表示項目を自由に設定可能

商品リストに表示する項目を自由に設定できるようになりました。
必要な項目を設定し、より使いやすい商品リストにすることが出来ます。
また、表示したい順番なども設定できます。

●商品リストの陳列済みマーク◆表示をリアルタイムに更新

陳列済みの商品に「◆」マークをリアルタイムで表示することが可能となりました。尚、表示設定で「◆(既陳列)」を選択している場合のみ有効です。



●商品リストの検索で文字検索が可能

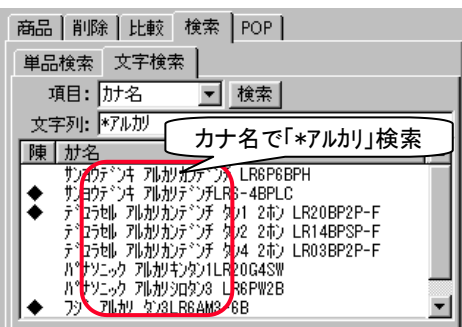
文字列を入力し、該当する商品情報を検索、結果をリストに表示することが可能となりました。
検索に使用できる項目はJANコード、カナ名、商品コード、売・商品コード(売上情報の商品コード)です。
「*」、「?」を使用して、商品名などの部分検索が行なえ、より早く商品を検索することが可能です。

操作:

検索したい文字を文字列に入力し「検索」ボタンをクリックすると、該当する商品をリストに表示します。

「*」 任意の複数文字として検索。

「?」 任意の1文字として検索。



★ホームページ新企画「Powers Column」★

<http://www.iconcept.co.jp/column/>

毎週水曜日に更新!

- Webコラム①「棚POWERとは」・・・「棚POWERはお絵かきソフト?」そこに秘められたPOWERの一部をご紹介します。
 - Webコラム②「お使いのVerは?」・・・最新バージョンをお使いですか?棚POWERのバージョン確認方法などの紹介。
- これからどんどん棚POWERの基本操作や活用方法など、様々な視点から役立つ情報の一言コラムを更新していきます。初心者から上級者まで楽しみながらご覧いただける内容です。是非ご覧ください!!



MD - ing講座 32 カテゴリー・マネジメントについて

今回から、「カテゴリー・マネジメント」について説明します。「カテゴリー・マネジメント」に関する著述は沢山出版されていますが、内容が難解であったり、実施が難しいという声を良く聞きます。この講座では、勿論先達の考え方を基本にしますが、出来るだけ現場で実際に使える内容を心掛けていきます。

第一は、その発祥の歴史ですが、1992年に米国で発表された『他業界業態競合調査』において、あるカテゴリーに焦点を絞ったカテゴリーキラーの脅威が明らかになったことに端を発し、「店舗対店舗」の競争ではなく、店舗内のカテゴリーと、それを扱うカテゴリーキラーとの競争が浮き彫りになったとあります。

第二に定義ですが、ここでは、二人の方の定義を紹介します。

1. ブライアン・ハリス博士（1985年）

経営管理の基本発想

小売業やメーカーにおいて、商品のカテゴリー・グループを戦略遂行単位（Strategic Business Unit）と設定し消費者ニーズの充足と経営における売上高及び利益など、の経営目標を達成する為の効果的な考え方。

共同計画プロセス

小売業とメーカーが相互の利益を確保することを共通目標として、商品カテゴリーの効率の向上に努力するものである。このために、戦略的な計画手法に従い、客観的なデータを基礎にしながら、これを分析し、必要な諸々の方法を計画し、実行していくこと。

組織開発

商品カテゴリーの総括的な管理責任を持つカテゴリー・マネジャーは、商品カテゴリーの仕入れと販売の計画から実施、そして利益の結果まで担当する。つまり、彼は売り場の商品在庫、売り場スペース、来店客数と活用可能な資産を使って、資産投資効率（ROA）の極大化を追及する機能であり、このために必要な権限と責任を付与する組織の開発が必要である。

2. ウィラード・ビショップ博士（1989年）

小売業とメーカーが、商品のカテゴリーに関する情報をお互いに持ち寄り、これを効果的に統合して、商品カテゴリーの効率を高めるプロセス。

個別のブランドやアイテムの一つ一つに着目するのではなくカテゴリー全体の効率を包括的に追及する考え方であり、このためには、小売業とメーカーが相互に協力し、情報の活用度を高め合うことが重要である。

カテゴリー・マネジメントはメーカーと小売業との共同作業である。

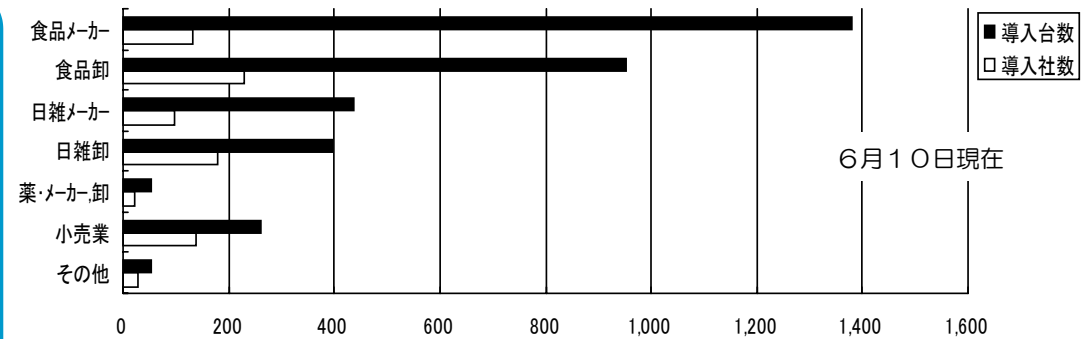
小売業の成果の最大化を第一義とし、その中でメーカーへの利潤追求を実現する。

評価の単位をカテゴリーとする。

第三は、ビジネス上の基本的な発想視点です。

- 取引関係にあるメーカー、小売業が共通の焦点とすべきものは“変化する消費者”対応である。
- 取引関係の強化と信頼感の形成は、自らの努力で確保すべきものであって、与えられるものではない。
- お互いの利益確保を求める交渉が最も良好な結果をもたらす。
- 情報の共有化は必須条件である。
- タイムリーであることが、情報の本当の価値を引き出す唯一のポイントである。
- カテゴリー・マネジメントを成功させるために必要な専門技術や情報は、メーカー、卸売業、小売業の誰もがすべてを持ち合わせていることはない。互いが補完関係にある。
- 取引に関する哲学と管理に関する戦略について、明確な文章で記述することが求められる。
- 互恵の精神
- 商品カテゴリーを1つの戦略遂行単位（S.B.U.）として、当該カテゴリーの目標とこの目標を達成する戦略を立案し、管理することが目的である。
カテゴリー単位で店頭を構成する
" 損益を計算する
" 販売促進を考える
" スペースを管理する
" 商圏内シェアを管理する
- カテゴリー・マネジャーの役割は、仕入れ・MD・価格設定・SP・在庫管理・ロジスティック・商品開発・棚割り・市場分析・商品マスター管理・欠品管理・計数管理など幅広い。

棚POWER導入数【826社 3,539セット】



プロテクタの有償貸出を承ります

研修会や新入社員教育などを自社で開催される際、導入台数以上のプロテクタが必要になるとのご相談を多くいただきます。そこでみなさまのご要望にお応えするべく、今後は下記内容にて対応させていただきますこととなりました。詳細はマーケティングセクションまでお問い合わせください。

- ・基本：5個/10,000円（※6個以上の場合は別途1,000円/個となります）
- ・期間：発送/返却日含む最長1週間（土・日・祝含む）
- ・タイプ：DOS/VまたはUSB（混合も可能）

※貸出希望が集中した場合はご希望の個数をご用意できない場合もございます。ご了承ください。

※一度に貸出可能な個数は20個までとさせていただきます。

サポートセンター トピックスNo.23

Q: インストール中「セットアップシステムにある一部のシステムファイルが最新ではないので、セットアップが続行できません」と表示される（Q&A文書番号: Z1900038）

A: 「OK」をクリックして、「再起動しますか」のメッセージで「はい」をクリックし再起動を行ってください。（「キャンセル」をクリックするとインストールを中断します）

Windowsの再起動後、お使いのOS(Windows)によるインストール条件を確認して再度インストールを行ってください。インストールするパソコンの環境により上記メッセージが表示されます。

詳しくはVer10.00 CDと一緒にお届けしている「棚 POWER Ver10のススメ」を参照してください。

Q: 分析検証のプリンタ、クリップボード出力時のグラフサイズを大きくしたい（Q&A文書番号: U6100015）

A: 設定時の基準により出力サイズが異なります。

対処法:

- 1.ブルダウメニュー・出力≪プリンタ,クリップボード出力≫をクリックします。
- 2.[出力設定ウィンドウ]を表示します。
- 3.「2.出力対象を選択」にて<グラフ基準(グラフの大きさを基準に出力します)>にチェックし実行してください。

参考:

<凡例基準>の場合は表示した凡例の大きさを基準に出力します。

◆詳細はホームページの「棚POWER Q&A集」をご参照ください。全文検索機能で上記文書番号を入力すると簡単に確認できます。（棚POWER・ヘルプからも参照可能です）⇒ <http://www.iconcept.co.jp/user/qa/>

◆上記Q&Aページには「支店間や取引先にデータを移行する際の支店展開方法」や「島陳列再現方法」の方法などの参考資料をPDFファイルでご用意しております。是非ご活用ください。⇒ http://www.iconcept.co.jp/user/qa/qa_sankou2.htm